

平成29年度下半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

所管課	教育委員会 中央青少年会館		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募	非公募	
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料	利用料金	料金徴収なし
指定管理委託料(年額)	36,693,270円(4青少年会館一括)		
施設の設置目的	青少年の健全な育成を図り、市民の教養の向上に資する。		
施設名	(1)岐阜市北青少年会館	所在地	岐阜市福光東3丁目19-18
施設概要	研修室1、研修室2、講義室、体育室、談話室、屋外コート(テニス)		
施設名	(2)岐阜市青山青少年会館	所在地	岐阜市小西郷1丁目56-2
施設概要	会議室1、和室1、和室2、体育室、屋外コート(テニス)		
施設名	(3)岐阜市西部福祉会館青少年ルーム	所在地	岐阜市西荘2丁目11-23
施設概要	研修室1、料理実習室、体育室 *西部福祉会館と複合施設		
施設名	(4)岐阜市東青少年会館	所在地	岐阜市前一色1丁目2-1
施設概要	研修室1、研修室2、談話室 *長森コミュニティセンターと複合施設		

●利用状況

		H29 下半期	H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期
(1)岐阜市北青少年会館		<b>H29 下半期</b>	H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期
利用者数(単位:人)		<b>12,735</b>	12,188	12,327	13,050	12,813
各室稼働状況(%)	研修室1	<b>31.6</b>	22.8	47.6	32.9	39.3
	研修室2	<b>20.2</b>	13.2	23.9	16.2	24.3
	講義室	<b>43.0</b>	42.1	42.5	46.6	47.0
	体育室	<b>86.4</b>	78.6	85.5	88.3	83.7
	屋外コート	<b>40.4</b>	33.4	47.4	53.5	51.3
(2)岐阜市青山青少年会館		<b>H29 下半期</b>	H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期
利用者数(単位:人)		<b>7,164</b>	10,007	7,241	8,162	6,850
各室稼働状況(%)	会議室1	<b>16.8</b>	7.3	14.6	20.2	11.3
	和室1	<b>9.3</b>	4.9	6.2	4.0	6.9
	和室2	<b>13.0</b>	13.4	8.9	11.3	9.2
	体育室	<b>67.7</b>	68.3	57.0	40.2	59.3
	屋外コート	<b>9.4</b>	22.9	6.5	8.5	8.7
(3)岐阜市西部福祉会館青少年ルーム		<b>H29 下半期</b>	H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期
利用者数(単位:人)		<b>8,505</b>	8,529	7,386	8,427	7,395
各室稼働状況(%)	研修室1	<b>47.2</b>	49.3	48.0	52.9	55.4
	料理実習室	<b>8.2</b>	24.8	24.5	26.7	18.8
	体育室	<b>74.2</b>	72.4	64.5	71.0	68.5
(4)岐阜市東青少年会館		<b>H29 下半期</b>	H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期
利用者数(単位:人)		<b>9,626</b>	8,137	10,405	12,008	12,167
各室稼働状況(%)	研修室1	<b>56.5</b>	53.4	52.3	56.2	39.9
	研修室2	<b>58.5</b>	58.4	54.5	57.7	47.2
	談話室	<b>71.6</b>	70.6	72.0	76.7	56.7
		<b>H29 下半期</b>	H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期
利用者数合計(単位:人)		<b>38,030</b>	38,861	37,359	41,647	39,225

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市青少年会館条例施行規則を遵守している。 ②勤務ローテーション表を使用するなどして、計画的に人員を配置している。また、各館に教員OBや資格を有する職員を配置し、その経験や専門性を活かせるよう配慮している。 嘱託職員 4人 臨時職員 12人（全16人のうち教員資格保有者 11人） ③広報ざふ、館内掲示、チラシ、ホームページ等で広く提供している。 ④会館利用者に対してアンケートを実施し、要望や苦情を的確に把握し、速やかに対応している。また、毎月館内会議を開き、接客態度の向上に努めている。
指定事業・自主事業	指定事業 ①青少年教育活動の推進 ②少年講座等の企画、開催、支援 ③相談業務 ④空き部屋の利用促進	指定事業 ①活動拠点支援事業 ・下半期利用状況:利用者数 <b>38,030人</b> (対前年度比 <b>671人増</b> ) 利用団体数 2,480団体 (対前年度比 151団体減) ②講座事業 ・冬期少年講座: <b>30講座</b> 参加者 <b>553人</b> (定員 595人 応募者 565人) ※自主事業 ・親子わくわく講座: <b>8講座</b> 参加者 <b>67家族131人</b> (定員 74家族148人 応募者 156家族313人) ・岐阜キラメキ講座: <b>4講座</b> 参加者 <b>60人</b> (定員 78人 応募者 82人) 講座事業総計: <b>42講座</b> 参加者 <b>744人</b> (2講座31人減) (定員 795人 応募者 960人) ③相談事業 ・主に青少年とその保護者を対象とした教育相談 下半期相談件数: <b>61件</b> (対前年度比 <b>19件増</b> ) ・子ども会サポートプラン 下半期相談件数: <b>40件</b> (対前年度比 <b>31件増</b> ) 活動実施数: <b>19件 573人</b> (対前年度比 <b>16件513人増</b> ) ④学習拠点支援事業 ・小中高生に空き部屋を学習ルームとして提供 下半期利用者数: <b>2,211人</b> ・サタデースクール(東青)サンデースクール(北青 新規) 下半期利用者数: <b>46人(2人増)</b>
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③ねずみ、害虫等の防除等	①日常清掃 臨時職員による清掃を期間中日常的に実施。 定期清掃 再委託業者によるワックスがけ、ガラス清掃実施。 ②職員による日常点検 開館日に職員が出勤時と退勤時に安全点検を実施。 機械警備 再委託業者による夜間と休館日終日の機械警備を実施。 ③敷地内の樹木剪定を職員で行う。 害虫等を発見した場合はその都度薬品を使用しない捕殺を実施。 その他、施設・設備等の管理については、仕様書・事業計画書のとおり業務を遂行している。

区分	確認事項	履行状況																		
施設修繕	<p>下記の観点からの修繕実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速な修繕の実施</li> <li>・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備</li> </ul>	<p>○迅速な修繕の実施(利用者からの指摘)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者とのコミュニケーションを重視し、窓口での声掛けや利用後の要望などの聞き取りを行っている。</li> <li>・利用者アンケートに施設への要望等の欄を設け、利用者からの声を収集することで、ニーズや不備に対し迅速に対応している。</li> <li>・職員による日常点検において施設の不備や安全確保に努めており、発見した場合は可能な限り職員で修繕対応を行っている。</li> </ul> <p>主な修繕実績(業者による対応)</p> <table border="0"> <tr> <td>北青少年会館</td> <td>ガラス飛散防止フィルム貼り</td> <td>93,765円</td> </tr> <tr> <td>東青少年会館</td> <td>研修室黒板張替</td> <td>97,200円</td> </tr> <tr> <td>青山青少年会館</td> <td>体育室暗幕取付</td> <td>61,560円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>テニスコート防球ネットワイヤー修理</td> <td>81,000円</td> </tr> <tr> <td>青少年ルーム</td> <td>蛍光灯修理</td> <td>78,386円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ほか 全11件実施</td> </tr> </table> <p>○職員による主な修繕・整備事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育室床ワックスがけ(北青・青山・ルーム)</li> <li>・施設内樹木・植栽の剪定、除草など(4館)</li> <li>・降雪時の雪かき(北青・東青・青山・ルーム)</li> <li>・テニスコート整備(北青・青山)</li> <li>・屋外倉庫扉修理(北青)</li> <li>・研修室イス座面張替、背もたれカバー製作・取付(北青)</li> <li>・談話室書籍補修(青山)</li> <li>・花壇整備(ルーム) ほか</li> </ul>	北青少年会館	ガラス飛散防止フィルム貼り	93,765円	東青少年会館	研修室黒板張替	97,200円	青山青少年会館	体育室暗幕取付	61,560円		テニスコート防球ネットワイヤー修理	81,000円	青少年ルーム	蛍光灯修理	78,386円	ほか 全11件実施		
北青少年会館	ガラス飛散防止フィルム貼り	93,765円																		
東青少年会館	研修室黒板張替	97,200円																		
青山青少年会館	体育室暗幕取付	61,560円																		
	テニスコート防球ネットワイヤー修理	81,000円																		
青少年ルーム	蛍光灯修理	78,386円																		
ほか 全11件実施																				
危機管理・法令遵守	<p>①個人情報保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の保護体制について、窓口での表示やホームページでの公開を実施</li> <li>・「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」「特定個人情報取扱規程」を制定</li> <li>・個人情報保護担当者を配置</li> <li>・「個人情報保護宣言」表示を継続</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員による定期安全点検の実施</li> <li>・医薬品(応急処置用、熱中症対応用保冷剤等)、防災用品(緊急放送ラジオ、職員用ヘルメット・寝袋)の常備</li> <li>・吐しゃ物処理セットの常備(ノロウイルス対策)</li> <li>・「青少年会館危機管理マニュアル」の設置</li> <li>・<b>「応急手当協力事業所」の登録(北青・東青・青山)</b></li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「不当要求防止責任者選任事業所」プレート設置継続</li> <li>・岐阜市青少年会館条例及び施行規則に則り、「青少年会館業務マニュアル」を作成し、利用上の諸問題やトラブルへの対応について対策を共通理解し、職員全員が同様の対応ができるよう努めている。</li> </ul>																		

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>①施設利用者アンケート ・全ての施設利用団体(代表者)に手渡しでアンケートを実施。</p> <p>②主催事業参加者アンケート ・講座参加者に手渡しでアンケートを実施。</p> <p>③「ご意見箱」の設置と「あと一声運動」による聞き取り調査(施設利用者・来館者個人)を継続。</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>①施設利用者アンケート 「利用回数について」2,123件 初めて:27件 1.3% 複数回:1,985件 98.7% 「全体の満足度について」2,012件 <b>大変満足:61.3% 満足:36.0%</b> 普通:2.7% 不満:0.0% 大変不満:0.0% (97.3%) 「施設設備について」2,012件 <b>大変満足:60.9% 満足:35.9%</b> 普通:3.2% 不満:0.0% 大変不満:0.0% (96.8%) 「職員の対応について」2,012件 <b>大変満足:64.2% 満足:33.4%</b> 普通:2.4% 不満:0.0% 大変不満:0.0% (97.6%)</p> <p>【主な意見】 「職員の対応が親切丁寧で気持ちよく利用しています。」(4館 同様の声多数) 「黒板がホワイトボードになって部屋が明るくなった。」(東青) 「体育室に暗幕がついて卓球がしやすくなった。」(青山) 「置き傘を貸してもらえて助かった。」(ルーム) その他感謝の声多数</p> <p>②主催事業参加者アンケート (①とても楽しかった・②楽しかった・③普通・④楽しなかった・⑤全然楽しなかった)</p> <p>■冬期講座: ◆少年講座 「講座は楽しかったか」初めて参加:130件 <b>①:77% ②:20%</b> ③:3% ④:0% ⑤:0% (97%) 複数回参加:367件 <b>①:82% ②:14%</b> ③:4% ④:0% ⑤:0% (96%) ◆岐阜クラメキ講座(自主事業) 「講座は楽しかったか」初めて参加:17件 <b>①:100% ②:0%</b> ③:0% ④:0% ⑤:0% (100%) 複数回参加:43件 <b>①:81% ②:14%</b> ③:5% ④:0% ⑤:0% (95%) ◆親子わくわく講座(自主事業) 「講座は楽しかったか」初めて参加:24件 <b>①:100% ②:0%</b> ③:0% ④:0% ⑤:0% (100%) 複数回参加:55件 <b>①:82% ②:16%</b> ③:2% ④:0% ⑤:0% (98%)</p> <p>【主な意見】 「6級まで受かってうれしかった。」(北青:けん玉) 「詰みの問題を解くことができたし、初めて会うたくさんの人と対局できて楽しかった。」(東青:将棋) 「同じグループのこと英語で話しながら料理ができた。」(青山:英語でクッキング) 「いろいろな花のことが分かって楽しかった。」(ルーム:生け花) 「家でもやってみたい。」(多数) 「講師の先生が分かりやすく丁寧に教えてくれた。」(多数)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>利用者から寄せられた意見等に対して、軽微な要望、修理、改修等については職員で速やかに対応するほか、業者対応を要するものについては見積もりを依頼し、後日対応している。</p> <p>【主な意見と対応】 ・「体育室で卓球をするのでカーテンをつけてほしい。」 ⇒球が見やすくなるよう暗幕を取り付けた。 ・「倉庫が古くて扉が使いにくい。」 ⇒職員が扉の戸車をすべて取り換え、開閉しやすくした。 ・「いすのシミが気になる。」 ⇒職員が座面を張替えるとともに、背もたれにカバーを製作して取り付けた。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

【青少年会館】

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	I 住民の平等利用が確保されること	(1)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円滑で公正な施設運営に努めているか。	A	A	A
		(2)情報公開、広報の方策	利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレットやホームページ、広報誌等に掲載し、情報提供を図っているか。	A	A	A
		(3)個人情報を保護するための方策	個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	A	A	A
		(4)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				
効果性	II 事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	各種講座の充実・拡大、相談室の開設により青少年の健全育成に寄与しているか。	S	A	A
		(2)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者・講座受講生に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	A	A	A
		(3)利用者に対するサービス向上の方策	講座受講生や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。	A	A	A
		(4)利用促進、利用者増の方策	施設紹介や主催事業のPR活動とともに、新規の事業開拓に努め、利用拡大を図っているか。	S	A	A
		(5)サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質の高いサービスを維持するために、利用者の声や意見を把握し、施設運営に取り入れるシステムや相談窓口を設けている。	A	A	A
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	青少年会館の設置目的を踏まえつつ効率の良い施設管理を行うために、管理及び運営にバランスのとれた人材を配置しているか。	A	A	A
		(7)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				
効率性	III 事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	(1)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービスを低下することなく、コストの縮減に努めているか。	S	S	S
		(2)収支計画の妥当性	削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	A	A	A
		(3)管理経費縮減の具体的方策	安定性・安全性を損なわない範囲で、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	A	A	A
		(4)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				

安定性 安全性	IV事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1)経営基盤の安定性	公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。	A	A	A
		(2)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当や勤務時間を工夫し、より効率よく業務ができるように配置しているか。	A	A	A
		(3)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。	A	A	A
		(4)スタッフの管理、監督体制	より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができているか。	A	A	A
		(5)スタッフの人材育成の方策	各種職員研修会を行い、職員の資質向上を目的とした研修計画書が作成されているか。	A	A	A
		(6)リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・日常清掃・消防訓練等を実施しているか。また緊急事態における対応が確認されているか。	A	A	A
		(7)リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	①会社更生法や民事再生法、破産法に基づき更生、再生、破産手続きの申立てをしていないか。 ②市税等の滞納はないか。	A	A	A
		(8)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
	区分評価					A
貢献性	V事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元の法人や青少年団体、ボランティア組織等との連携に努めるとともに、その育成に取り組んでいるか。	S	A	A
		(2)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。	A	A	A
		(3)地元での資材等の調達	資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意しているか。	A	A	A
		(4)地元での社会活動等への参加	地元で実施される社会活動等への積極的な参加に努めているか。	A	A	A
		(5)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
	区分評価					A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>(II-1)</p> <p><u>1 講座事業</u>          ・下半期の講座は「冬期講座」42講座を実施し、延べ744人の参加がありました。<b>事業満足度は97%</b>と高い評価を得ることができました。          ・ニーズの高い内容に見直しを図ったことが事業満足度の高評価に繋がったと捉えています。</p> <p><u>2 相談事業</u>          ・下半期は<b>61件</b>の教育相談に対応しました(<b>対前年度比19件増</b>)。学習や学校生活、進路に関する相談に対し、教員OBとしての経験を活かしたきめ細かな対応を行いました。また、子ども会活動に関する相談も増加したため、子ども会サポートプランを紹介、説明するなど、地域子ども会の活性化にも努めました。</p> <p><u>3 学習拠点支援事業</u>          ・学習ルームは下半期に2,211人の利用があり、多くの児童生徒、青年に対して学習の場を提供するとともに、空き部屋の有効活用に努めました。          ・「サタデースクール」のほか、<b>1月より北青少年会館で「サンデースクール」開始</b>しました。下半期は<b>46人</b>(対前年度比<b>2人増</b>)の利用がありました。</p> <p><u>4 活動拠点支援事業</u>          ・「子ども会サポートプラン」では40団体からの相談に対応し、<b>19団体573人</b>(うち<b>5団体71人は会館を利用</b>)の活動をサポートしました(<b>対前年度比16団体513人増</b>)。</p> <p><u>5 連携事業</u>          ・若者支援対策の一環として青山青少年会館の第1和室にマンガコーナーを設け、気軽に利用いただけるよう環境整備に取り組みました。また、中央青少年会館やエールぎふに対し、コーナー設置の情報提供を行いました。結果、<b>少年・青年の個人利用が合わせて対前年度比340人増の1,046人</b>となり、利用者増の一因となりました。</p>
	<p>(II-4)</p> <p><u>4 「セルフスタディサポート」の実施</u>          ・東青少年会館で「サタデースクール」、北青少年会館で「サンデースクール」(新規)を開設し、小学生46人の学習に寄与しました。(対前年度比2人増 月平均 7.7人)。</p> <p><u>5 「子ども会サポートプラン」の充実</u>          ・子ども会サポートプランの冊子を改訂し、職員が地域子ども会の役員会や市子連の会長会などでプランの紹介・説明を行いました。結果、子ども会活動に関する相談が<b>40件(対前年度比31件増)</b>あり、<b>19団体573人の活動に寄与</b>しました(<b>対前年度比16団体513人増</b>)。</p>
	<p>(III-1)</p> <p><u>1 コストをかけるサービスの優先順位</u>          ・利用者の要望に最大限こたえるため、限られた予算の中で計画的に予算執行を行い、より良い環境整備に努めました。いずれも利用者から好評を得ています。  <b>【一例】</b>          ① 体育室の暗幕設置(青山青少年会館)          ② デジタル印刷機の購入(東青少年会館)          ③ 研修室のホワイトボード設置(東青少年会館)</p> <p><u>2 コストをかけないサービスの向上</u>          ・北青少年会館研修室1のイスについて、<b>座面の張替えと背もたれ部分のカバー製作を職員で行いました</b>。利用者から好評を得ています。          ・北青少年会館屋外倉庫の扉の修理を職員が行い、利用者から使いやすくなったとの感想をいただきました。          ・青山青少年会館の第1和室等に利用者や職員からの寄付でいただいた書籍を設置しました。結果、第1和室の月平均の稼働率が向上しました。(10月平均<b>11.6%</b>→3月平均<b>21.6%</b>)</p> <p><u>3 自主事業に実施によるサービス向上</u>          ・事業団管理施設間の事業協力により、講座講師を職員が努めることで講師謝金の削減に努めました。(冬期講座では8講座 56,000円の縮減)</p>

今期の取組み  
に対する評価

(IV-2)

1 早番・中番・遅番の三交代制

2 繰り上げ繰り下げシフトで効率的な勤務を実現

・前回の評価を受けて臨時館長会を実施し、全職員に対して下記の点について再確認の徹底を図りました。今期は施設の運営業務を適切に遂行しており、勤務体制に関する利用者からの苦情もありませんでした。

- ① 毎日の勤務ローテーションの確認
- ② 事業実施時の職員2名体制確保
- ③ 会館の役割と業務の確認

(IV-4)

1 目標の共有と達成に向けたチームワーク

2 館長会議・施設長会議・館内会議による周知・徹底

10 柔軟な勤務体制

11 行事予定に沿った無理のない勤務割当の例月作成

・前回の評価を受けて臨時館長会を実施し、全職員に対して下記の点について徹底を図りました。今期は施設の運営業務を適切に遂行しており、勤務体制に関する利用者からの苦情はありませんでした。

- ① 毎日の勤務ローテーションの確認
- ② 事業実施時の職員2名体制確保
- ③ 会館の役割と業務の確認

(V-1)

2 地元団体の育成

・岐阜市第2ブロック青少年育成市民会議の主催事業「サンタが家にやってくる」への協力として休館日における臨時会館を実施しました。

・「子ども会サポートプラン」の実績として、**冊子の改訂**及び市子連・地域子どもの会の役員会で紹介・説明を行った結果、下半期は40団体の相談に対応**(対前年度比31団体増)**し、**19団体573人(対前年度比16団体513人増)の活動に寄与**することができました。

・その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○所管課の意見 (利用者の増減について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少年の利用人数・団体数は増加しているが、子ども会サポートプランの内容が充実しており、少年利用の需要はまだあると思われるため、今後は4館全てにおいて広報に力を入れるとよい。また、青年の利用人数・団体数がかなり減っていることから、その分析を行い、青年の利用に向けた方策を検討する必要がある。</li> </ul> <p>(Ⅱ-(1))(Ⅱ-(4)) ⇒今期子ども会サポートプランの冊子を改定し、市子連会長会から地域子ども会役員会まで幅広く広報に努めたことにより、相談件数、会館利用件数が大幅に増加し(相談件数は40件で対前年度比31件増、会館利用件数は3団体48人増)地域子ども会の活性化と会館利用増に繋げることができました。また、若者支援対策の一環として実施した青山青少年会館第1和室へのマンガ設置ですが、少年・青年の個人利用にも大きな影響があり、対前年度比で340人増の1,046人の利用がありました。青年の個人利用は4館全体で対前年度比248人増の1,136人でしたが、団体利用が513人減の3,003人でしたので、青年団体の利用拡大が今後の課題であると捉えています。</p> <p>(今後の方針について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存業務に飽き足らず、新規に春講座を創設したり、岐阜市や岐阜市教育委員会の意図に沿った講座等を引き続き実施するなど、特に講座に対する尽力を高く評価する。これにより、前年度同期に比べ9講座が増加、結果56人の利用者が増え、受講者の満足度も高水準を保っていることから、利用促進に効果があるものと思われる。また、相談業務についても、教員等の経験、地位、人脈を活かし、青少年の悩みに寄り添う事例も見られ、評価できる。職員数やローテーションの関係上、すべての悩みに対応することは難しい面があるが、今後も中央青少年会館やエールぎふと連携しながら、4館全てにおいて、青少年の利用者に注意を払い続けてほしい。一方で、平成29年度上半期に、人員配置が十分でないことから利用者に不都合な思いをさせたため、今後のスタッフ配置については十分留意していただきたい。また、ベテランの元教員を職員に起用し、能力を活用する一方で、館の役割や使命についての認識の薄さが窺える言動が多々あったため、就任直後の職員に対する研修を行う等、早急な改善を求めらる。</li> </ul> <p>(Ⅱ-(1)(3)(4))(Ⅳ-(3)) ⇒講座については、参加者のニーズを的確に掴みながら各館の特徴を活かし、魅力ある内容の講座を企画、実施することで参加者から高い評価を得ています。相談業務は進路や学校生活、学習に関する相談のほか、今期は子ども会活動に関する相談への対応が大幅に増加しました。地域の子ども会の活性化を図るため、今後も継続して取り組んでまいります。</p> <p>(Ⅳ-(2)(4)) ⇒前回の評価を受けて臨時館長会を実施し、全職員に対して①毎日の勤務ローテーションの確認②事業実施時の職員2名体制確保③施設の役割や業務再確認の3点の徹底を図りました。今期は施設の運営業務を適切に遂行しており、勤務体制に関する利用者からの苦情はありませんでした。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○評価委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青年の地域の組織というものが皆無になってきているので、サークル的な1つの目的を同じくするグループを育てていくことを考えなければならない。何か青年に魅力のある講座的なもので呼び込むものが欲しいと感じる。</li> </ul> <p>(Ⅱ-(1)(4)) ⇒下半期の青年利用は、高校生への学習利用の呼びかけなどにより個人利用が増加しました。今後は青年団体の利用増を図るため、大学生を中心に施設のPR強化に取り組む必要があると捉えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青山青少年会館の和室の稼働率が低く、何らか検討しないとつたいないと感じた。</li> </ul> <p>(Ⅱ-(1)(4)) ⇒今期、利用者や職員から書籍の寄付を募り、談話室と和室の環境整備に取り組みました。第1和室はマンガを設置し、利用者が気軽に使えるよう取り組みました。結果、稼働率が向上(10月平均:11.6%→3月平均:21.6%)するとともに、少年・青年の個人利用者数が増加(対前年度比340人増の1,046人)しました。</p>

今後の取組み	(Ⅱ-(1)(2)(4))	・アンケート結果や参加者の声からの確にニーズを掴み、魅力的な講座を実施します。
	(Ⅱ-(1)(4))(Ⅳ-(2))	・中央青少年会館及びエールぎふと密に連携を取りながら、施設として可能な範囲で若者支援に努めます。
	(Ⅱ-(4))	・地元大学を中心に広く広報活動に努め、青年団体の利用拡大を図ります。
	(Ⅱ-(1)(Ⅳ-(3))	・北青少年会館の「サンデースクール」について、学校や関係団体などに対し広くPR活動に努め、利用増を図ります。
	(Ⅱ-(1)(4))(Ⅴ-(1))	・「子ども会サポートプラン」を継続して実施し、地域の子ども会活動の活性化を支援します。

●所管課の意見

○利用者の増減について

	H28下半年期	H29下半年期	対前年度比	
			人数	増減
少年利用人数	15,425	16,560	1,135	7% 増
団数	1,142	1,049	-93	9% 減
青年利用人数	4,404	4,155	-249	6% 減
団数	356	306	-50	16% 減
青少年合計 利用人数	19,829	20,715	886	4% 増
団数	1,498	1,355	-143	11% 減

岐阜市子ども会育成連合会の会長会や長森地区において、子ども会サポートプランの広報に努め、少年の利用も増加していることから、一定の評価はできるが、今後は4館全てにおいて広報に力を入れ、周知が図れるとよい。  
また青年の利用団数がかなり減っていることから、青年の利用に向けた方策を検討する必要がある。

○評価と今後の方針について

【特に評価すること】

1 第1和室の稼働率向上

これまでの青少年会館運営委員会における意見を真摯に受け止め、青山青少年会館の第1和室を気軽に利用できるよう環境整備に取り組み、若者の利用を増やした。

2 コストをかけないサービス向上

限られた予算の中で、職員の知識・技能を活かし、利用者の満足度向上をできる限り図っている。

【更なる活躍を期待すること】

1 子ども会サポートプラン等の広報

子ども会サポートプランや学習ルームの事業広報は一定の評価はするものの、一部の会館だけの取り組みになっているため、全館で広報できるとよい。

2 若者相談支援

若者支援対策の一環として、会館職員の人数を考慮しながらも、できるだけ相談にのれるような体制を推進してほしい。

●指定管理者評価委員会の意見

・施設本来の在り方を考える意味で、少年世代だけではなく、勤労青年世代が青年会館として利用するための方策について取り組むべきである。

・自分たちで工夫してコストをかけずサービスを行っている点については高く評価できる。

・安く借りられる施設なのに稼働率が低いので、施設の存在についてしっかり周知してほしい。